

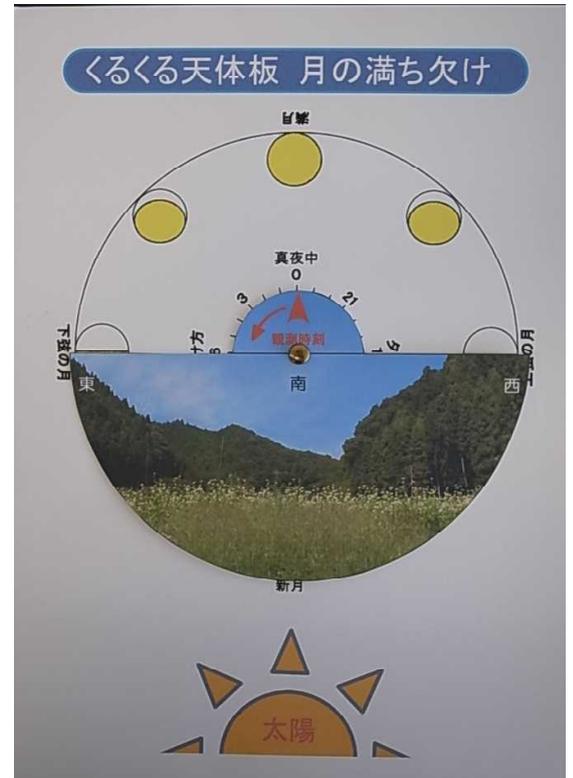
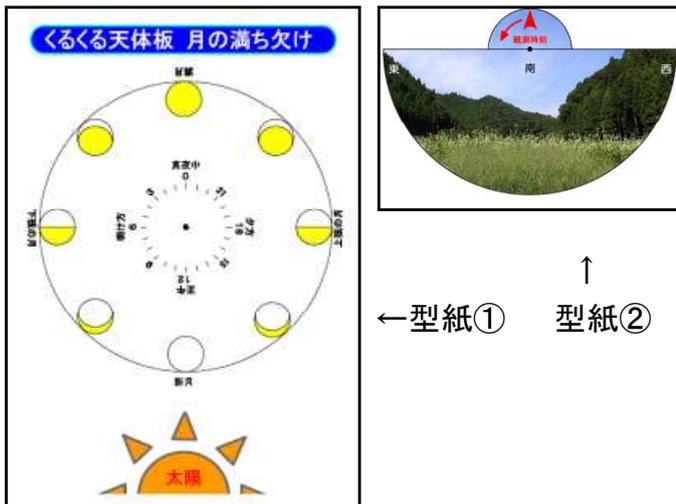
# くるくる天体板～月の満ち欠け

## 1 ねらい

月の位置が時間の経過に伴って変わることや、月は日によって形が変わること、月の輝いている側に太陽があることを、簡単な模型を作成し、実際の月の観察と照らして理解を深めることができます。

## 2 準備するもの

- ・ 型紙①、②
- ・ 割ピン
- ・ はさみ、カッターナイフなど
- ・ 千枚通し



## 3 作り方

- (1) 型紙②の半円状の部分を切り離し、型紙①に重ねる。
- (2) 中央に千枚通しで穴を開け、割ピンで固定する。

## 4 使用上の留意点

- (1) 半円状の型紙②は、観測者が地上に立っている状態を示しているため、型紙②を手で固定して、型紙①を時計回りに回します。
- (2) 型紙①には、あらかじめ8つの形の月が印刷してありますが、例えば「上弦の月」だけに注目させて（白い付箋紙などで他の7つを隠すなど）動かすことで、月の1日の動きを確認することもできます。



# くるくる天体板 月の満ち欠け

